

NEWS & REPORT

第47回北信越国民スポーツ大会
バドミントン競技 成年男女
本大会 (あおり国スポ) 出場へ

成年男子について、第2代表戦を制し

本大会出場を決めました。

成年女子について、代表戦の結果

第2代表として本大会出場を決めました。

成年種目のアベック通過は28年ぶりの成果です。

少年男子は、本大会からの参加となります。

開催期間は、10月11日(日)～14日(水)



INTERVIEW

選手の声 (目崎舞桜選手)

男女ともに本大会への出場権を獲得することができ、とてもうれしく思います。1回戦の富山戦では、実業団選手を相手に厳しい展開となり、自分たちの力を十分に発揮できませんでした。2位決定戦では、1回戦の課題を修正し、全員が自分の役割を果たしながら戦うことができました。接戦となる場面もありましたが、多くの方々の応援が力となり、勝利をつかむことができました。本大会では、さらにレベルの高い戦いが予想されます。今回の経験を自信につなげ、本大会で1つでも多く勝ち進めるよう、チーム一同練習に励んでいきます。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。



INTERVIEW

選手の声

第47回北信越国スポを勝ち抜き、青森で開催される本大会への出場権を獲得できたことを大変嬉しく思います。特に第2代表決定戦では、普段練習してきた成果を全員が出し切ることができ、ベンチワークからチーム一丸となって戦えたことが勝利に繋がりました。

また、今回は成年男女アベック通過という28年ぶりの快挙を達成することができました。この結果が今後の新潟県バドミントン界の発展に繋がると確信しております。本大会でも北信越の代表として誇りと責任を胸に、優勝を目指します。チーム一同全力プレイで頑張りますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



女子監督より

「全員で掴んだ栄冠」 長谷川拓也監督

初戦は強敵・富山県に屈したものの、翌日の2位決定戦では昨年惜敗した石川県相手に各選手が高いパフォーマンスを発揮し、接戦を制して本国スポへの切符を掴みました。本大会では3種別出場の強みを活かし、チーム新潟丸となってポイント獲得を目指し全力を尽くします。引き続き温かい応援をよろしくお願いいたします。

男子監督より

「抜群のチームワークが生んだ劇的勝利」
金井広喜監督

本国スポへ行くためには、SJリーガーが主力の富山、石川、長野との対戦があった厳しいトーナメントでしたが、チームワークの良さと一歩も引かない強い気持ちで、見事第2代表の座を掴み取ることが出来ました。28年ぶりの男女アベック通過という勢いそのままに、本大会でもチーム新潟として熱い戦いを見せます。今後とも熱いご声援をよろしくお願いいたします。